

事故の型別にみた車両系荷役運搬機械等による主な死亡災害事例 (平成19年発生分)

■ フォークリフト

01. 墜落・転落

番号	局名	業種	発生月	年齢区分	災害の発生状況
1	埼玉	陸上貨物 運送事業	3月	60歳以上	運送先工場内のプラットフォームにおいて、印刷物をフォークリフトを使用しトラックに積み込む作業を終えたところ、フォークリフトのハンドル操作を誤り、プラットフォームからフォークリフトと共に転落し死亡した。
2	東京	陸上貨物 運送事業	4月	20～29歳	5階にある冷凍庫から荷をリーチフォークリフトを使用して、エレベーターに積む作業をしていたが、荷を積んでいないリーチフォークリフトを運転中、エレベーターに後部から激突し、衝撃によりエレベーターの戸(左右開き)を昇降路内に押し込み、その結果、戸にできた隙間より昇降路内へ落ち、1階停止中のエレベーター搬送天井に墜落し死亡した。
3	三重	建設業	5月	60歳以上	被災者ら3名は、排気ダクト設置のため、高さ約6メートルの屋根上にフォークリフトを使用し、材料の荷揚げ作業を行っていた。被災者は、当該フォークリフトのフォークに乗り、高さ3メートルのところ、ロープで荷締めをしていたところ、コンクリート土間に墜落し死亡した。
4	茨城	製造業	9月	30～39歳	倉庫において、ピッキングフォークリフト(運転席がフォークの爪とともに上下する)で倉庫の棚の荷物をとろうとしていた作業者が、運転席部(高さ4.35m)より通路床面に墜落し死亡した。
5	石川	商業	9月	50～59歳	事業場敷地内にある倉庫1階において、フォークリフトを使用して品出し作業を行っていた。スチール棚の3段目に積んである商品を取り出すためにフォークリフトに乗り、高さ約2m弱の位置まで上がり作業を行っていたところ、バランスを崩し床に転落し死亡した。
6	三重	商業	9月	60歳以上	肥料(1袋20キログラム)の袋を店頭に設置された3段式の陳列棚の2段目に陳列する作業において、被災者はフォークリフトで持ち上げられた当該肥料が積まれているパレットに乗り、陳列棚上で作業している他の労働者に当該肥料の袋を渡す作業を行っていたところ、当該パレットから1.5メートル下の床面に墜落し死亡した。
7	千葉	その他の 事業	11月	20～29歳	倉庫5階において、被災者が出荷業務に就いていたところ、運転席が上下するフォークリフト(ピッカータイプ)の運転席部分から約4m下に墜落し死亡した。
8	千葉	他の事	11月	40～49歳	被災者がパケットアタッチメントを取り付けたフォークリフトを運転し、ホッパー付近まで走行したところで同僚の合図により一時停止をした。 その後、パケット内の不燃ごみをホッパーに投入するためさらに前進したところ、フォークリフトごとホッパー内(深さ1.3m)に転落し死亡した。
9	青森	製造業	12月	40～49歳	フォークリフトを使用して石油ストーブを工場天井裏にある物置に収納しようとして、積み上げてある段ボールにうまを立てかけて段ボール上に上がり、そこからパレット上に乗り移って作業を行おうとしたところ、墜落し死亡した。

02. 転倒

番号	局名	業種	発生月	年齢区分	災害の発生状況
1	埼玉	陸上貨物 運送事業	4月	30～39歳	被災者ら3名が、フォークリフト(最大荷重1.2トン)を使用してトラックに製品を積み込む作業中、製品が入ったフレコンバッグ(重さ約1トン)を一方のフォークのみでマスト上限までつり上げ、走行していたところ、フォークリフトが横転したため、フォークリフトを運転していた被災者がその下敷きとなり死亡した。
2	北海道	商業	11月	50～59歳	鉄製コンテナに積み込まれた選果前の玉ねぎ(重量約1.5t)をフォークリフト(最大荷重2.5t)を用いて事業場敷地内に積み上げる作業中、フォークリフトが横転して運転者が運転席から投げ出され、横転したフォークリフトと地面との間に挟まれ死亡した。

04. 飛来・落下

番号	局名	業種	発生月	年齢区分	災害の発生状況
1	栃木	陸上貨物 運送事業	2月	20～29歳	フォークリフトを使おうとしたところエンジンがかからなかったため、別のフォークリフトにより引っ張りエンジンをかけようとベルトスリングを掛けて牽引した際、ピンが外れて被災者にあたり死亡した。
2	岩手	建設業	3月	60歳以上	フォークリフトで木材(長さ2.65m、45cm角)を運搬中、運搬した木材を置く箇所に、木材を置くための受け台(10cm角)を置いている被災者がいたため、フォークリフトを止めたところ、止まった勢いで木材がフォークから滑り落ち、被災者に激突し死亡した。
3	愛知	製造業	7月	30～39歳	ロボットスポット溶接装置一式を客先へ納入するため、試運転箇所において基礎を外し、ロボットの架台にフォークリフトのフォークを差し持ち上げたところ、基礎ボルト約10cmから架台の下部が外れた途端ロボットが傾き、付近で誘導していた被災者の側へ倒れ、スポット溶接用アームが直撃し死亡した。
4	静岡	陸上貨物 運送事業	8月	60歳以上	3本のH鋼材を横に重ねてフォークリフトにより運搬し、被災者の誘導で荷卸位置で微調整をしていたところ、突然フォーク先端側のH鋼材1本が落下し、被災者を直撃し死亡した。

06. 激突され

番号	局名	業種	発生日	年齢区分	災害の発生状況
1	兵庫	建設業	5月	40～49歳	鉄筋資材置き場において、重さ約160kgの鉄筋の束に作業員Aがワイヤロープを掛け作業員Bがフォークリフトの爪で鉄筋を吊り上げ、そのまま作業員Bがフォークリフトを運転し同時に作業員Aが鉄筋の束を手でおさえるためフォークリフトの左前方を移動していたところ、約40m運転した地点で、作業員Aがフォークリフトに轢かれ死亡した。
2	岡山	商業	6月	30～39歳	倉庫の庫内整理を行っていたフォークリフト(最大荷重1.5トン)の後部カウンターウエイト上に置いてあった書類を取りに近づいた被災者が後進した当該フォークリフトに激突され死亡した。
3	徳島	建設業	6月	60歳以上	工場内の燃料プラスチック受渡しエリアを通行していた被災者が、燃料プラスチックの運搬のため旋回したクランプフォークリフトの右前方部分に激突され死亡した。
4	宮崎	鉱業	7月	50～59歳	工場内においてフォークリフトを用いた荷(フレコンバック;重量約650kg)のはい付け作業を一人で行っていたところ、床面に窪みがあったため、その床面へパレットを敷き詰めようと荷をつり上げたままフォークリフトの運転席を離れた。床面にパレットを設置している時に、フォークリフトが被災者の方向へ動き出し、荷の下敷きになり死亡した。
5	佐賀	陸上貨物運送事業	9月	20～29歳	屋外の荷捌き場において、パレットの上に乗っている荷を人力でトラックに積込む作業を行っていたところ、パレットとトラックの間で作業を行っていた被災者が、同僚の運転するフォークリフトに激突され、フォークリフトのバックレストとトラックの後部バンパーにはさまれ死亡した。
6	神奈川	建設業	9月	50～59歳	トレーラーから資材を荷卸し後、後進してきたフォークリフトに工場敷地内の道路上を歩いていた労働者が轢かれ死亡した。
7	広島	製造業	9月	60歳以上	クレーンのグリスアップに使用したグリス缶の空き缶を廃棄するため、構内道路脇のゴミパケット置き場に行った際、他の労働者が運転するフォークリフトに激突され死亡した。
8	愛知	製造業	12月	30～39歳	労働者が鉄鋼製品を運ぶために運転していたサイドフォーク(最大荷重8t)が、構内の道路上にある交差点を左折した時に、サイドフォークの前方部が道路を通行していた被災者に激突し死亡した。

07. はさまれ、巻き込まれ

番号	局名	業種	発生日	年齢区分	災害の発生状況
1	大阪	港湾荷役業	1月	60歳以上	港において粉体をフレコンバックに詰める作業に従事していた被災者が、休憩を終えて作業場所に戻るため、埠頭を岸壁に向かって斜めに歩いていたところ、岸壁と平行に走行(前進、荷の積載なし)するフォークリフトに轢かれて死亡した。
2	岩手	陸上貨物運送事業	3月	50～59歳	運送してきた家畜の荷卸し作業を終え、トラックのテールゲートを閉めるため、トラックの後輪の脇にある開閉スイッチを操作していたところ、前進してきた他の労働者が運転するフォークリフトに轢かれ死亡した。
3	群馬	製造業	3月	60歳以上	工場内で高さ3.6mに設置してある配線を載せているレール(長さ約4m)の汚れをバッテリーフォーク(最大荷重1.25t)を使用して清掃中、同フォークリフトのヘッドガードの枠と同マストの間に挟まれ死亡した。
4	新潟	商業	3月	60歳以上	倉庫内資材の整理作業をフォークリフト(最大荷重1.25トン)を使用して一人作業で行っていたところ、作業者がフォークリフトのエンジンを停止させずに運転席から離れたため、フォークリフトが後方に逸走し、作業者は、倉庫前に止められていた自動車とフォークリフトの間に挟まれ死亡した。
5	大阪	陸上貨物運送事業	5月	40～49歳	帰宅途中の労働者が、他の労働者が運転するフォークリフト(積載荷重6t)に後方から走り寄ったところ、フォークリフトに轢かれ死亡した。
6	兵庫	陸上貨物運送事業	5月	60歳以上	倉庫内において、フォークリフト(最大積載荷重1.8トン)を使用し段ボール箱入り商品パレット(上段16箱、下段18箱、1箱約3キログラム)を置き場に運搬していたところ、上段の1箱が落下しそうなため、フォークリフトを停止しマストの間に立て手直ししようとした際、1箱が操作レバー上に落下したため、マストが傾きマストとヘッドガードにはさまれ死亡した。
7	群馬	陸上貨物運送事業	9月	40～49歳	フォークリフトを昇降設備として使用し、トラック上部のランプ交換を一人で行った後、フォークリフトのヘッドガードを経由して降りようとしたところ、フォークリフトのヘッドガードフレームとマストの間に挟まれ死亡した。
8	新潟	商業	10月	40～49歳	積み重ねられた住宅用断熱材116枚(1.8m×0.9m×2.3m)をフォークリフトで運搬していたところ、風にあおられて断熱材が落ちそうになったため、フォークリフトを運転していた被災者がフォークリフトの運転席と断熱材との間に入り断熱材を固定しようとしたが、誤ってマストの操作レバーに触れてしまい、マストが運転席側に傾き、被災者がマストとヘッドガードにはさまれて死亡した。
9	埼玉	商業	10月	60歳以上	被災者は米粉のフレンドを行うホッパーを清掃するため、フォークにパレットを設置し、パレット上で清掃作業を行っていたところ、パレットから降りる際に誤って足でマスト操作レバーを踏み、マストとヘッドガードにはさまれて死亡した。
10	大阪	製造業	12月	50～59歳	一人で出荷作業をしていたところ、フォークリフトのマストとヘッドガードとの間に挟まれ死亡した。

08. 交通事故(道路)

番号	局名	業種	発生日	年齢区分	災害の発生状況
1	岩手	製造業	11月	40～49歳	修理の依頼を受けたフォークリフトを事業場に搬送するため、フォークリフトを運転し、市道を走行していたところ、運転操作を誤り、蛇行を繰り返した後フォークリフトが横転し、運転席から投げ出され、フォークリフトの下敷きとなり死亡した。

■ ショベルローダー

05. 崩壊・倒壊

番号	局名	業種	発生月	年齢区分	災害の発生状況
1	岡山	製造業	7月	20～29歳	ショベルローダーで後進中、4段に積まれていたフレコンバック(Φ約100×75cm、約1t)に接触し、崩れてきたフレコンバックが被災者の上に倒れ、運転席から身を乗り出していた被災者を圧迫し死亡した。

■ 不整地運搬車

01. 墜落・転落

番号	局名	業種	発生月	年齢区分	災害の発生状況
1	大阪	建設業	5	50～59歳	不整地運搬車(空荷)2.2tを運転し、川表法面より、川裏法面へ移動中、下り勾配(約30度)で車両が前向きに転倒し、その下敷きになって死亡した。

■ 不整地運搬車

02. 転倒

番号	局名	業種	発生月	年齢区分	災害の発生状況
1	鹿児島	建設業	5	20～29歳	災害復旧工事現場において、生コンクリートを不整地運搬車(最大積載荷重2.5トン)に積み後進で運んでいたところ、運転者が操作を誤り作業用仮設道路の法面に乗り上げ当該不整地運搬車が横転し、運転席横に同乗していた被災者が投げ出され、法面に激突し死亡した。